

第 1 回	<p>テーマ：「微生物学」で学ぶ科目の概要について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 2 回	<p>テーマ：感染・発症のメカニズムと感染症の種類 1</p> <p>病原体の種類、感染の成立と経過について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 3 回	<p>テーマ：感染・発症のメカニズムと種類 2</p> <p>感染発生の三大要因（感染源・感染経路・宿主）について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 4 回	<p>テーマ：感染・発症のメカニズムと種類 3</p> <p>新興・再興感染症、輸入感染症、人獣感染症、食中毒について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 5 回	<p>テーマ：免疫 1・生体防御機構</p> <p>自然免疫と獲得免疫（液性免疫・細胞性免疫）の生体防御機構と感染防御免疫・腫瘍免疫について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 6 回	<p>テーマ：免疫 2・免疫異常</p> <p>アレルギーの分類と疾病、免疫不全について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 7 回	<p>テーマ：感染症の予防と感染制御対策 1</p> <p>滅菌法、消毒法、医療・教育現場における滅菌・消毒の実際について解説する。また、予防接種についても解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 8 回	<p>テーマ：感染症の予防と感染制御対策 2</p> <p>法律による感染症対策として感染症法、学校保健安全法について解説する。また、感染症発生動向調査についても解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 9 回	<p>テーマ：感染症の治療と予防（目野 郁子）</p> <p>化学療法の原理（作用点・抗菌作用・副作用）と抗菌薬、抗ウイルス薬について解説する。また、免疫グロブリン療法について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 10 回	<p>テーマ：細菌感染症 1</p> <p>グラム陽性球菌（ブドウ球菌など）、グラム陰性球菌（髄膜炎菌など）の性状と疾患について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 11 回	<p>テーマ：細菌感染症 2</p> <p>グラム陰性桿菌（大腸菌など）、グラム陽性桿菌（破傷風菌など）、抗酸菌（結核菌など）、マイコプラズマ（肺炎マイコプラズマ）、クラミジア（トラコーマクラミジア）の性状と疾患について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>

第 12 回	<p>テーマ：ウイルス感染症 1</p> <p>DNA ウイルス(ヘルペスウイルス、B 型肝炎ウイルスなど) の性状と疾患について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 13 回	<p>テーマ：ウイルス感染症 2</p> <p>RNA ウイルス(インフルエンザウイルスなど) の性状と疾患について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 14 回	<p>テーマ：真菌感染症、寄生虫(原虫) 感染症</p> <p>真菌(カンジダなど)、原虫(トキソプラズマなど) の性状と疾患について解説する。</p> <p>担当：目野郁子</p>
第 15 回	<p>テーマ：まとめ</p> <p>担当：目野郁子</p>
テキスト	<p>わかる身につく病原体・感染・免疫 [南山堂]</p> <p>配布資料</p>
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	<p>データベース：朝日新聞クロスサーチ、CiNii Research、Google Scholar</p>
課題に対す るフィード バックの方 法	<p>小テストについては、問題の解説を行い成績を個別に知らせます。</p> <p>成績発表後に、評価点の分布図を提示します。</p>
学生へのメ ッセージ・ コメント	<p>新聞、テレビ、雑誌などから「感染症」に関連した情報を集め、興味や関心をもち講義にのぞむ姿勢が必要です。</p> <p>提示された「ポイント整理」を、「教科書」「講義プリント」「参考書」を用いて自己学習によりまとめ、知識の整理を行なってください。</p>

